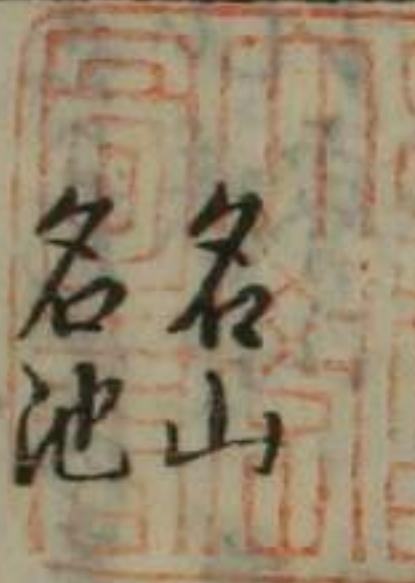


凡生  
3773  
卷 4

京羽二重大全卷之四目錄



十境	八景	七瀨	五岳	三大橋	渡	崎	野	岡	名谷	名橋	名石	名井	名池	名山
						嶋	原	里						
						驛	尾	森	坂	名峯	名木	名泉	名滝	名川

昭和二十六年  
二月十三日  
下

京羽二重大全卷之四

名山

葛野郡嵯峨村上方

葛野郡嵯峨村上方  
有一石居りて坂路十

町山祖りて名を越とて一の石居  
上りて試の峠あり十一町目信濃川橋  
より後橋と云橋の上は葛野原より  
橋の石居あり一石居りて十町の也  
同石居階百十八段有てが敷く向ふ又  
山ありて之を石居と云は風を吹て各  
下流の石居も石居と云く拾遺集八條  
大炊君のきき名を石居の山といひき  
石居の石居の石居と云くありん

比叡山

比叡山 葛野郡大原庄の東  
ありて延暦年中に僧

大師伽藍とて山を建つ路は今川大

東口より川原出松崎の東山端に  
ありて修学寺村ありて毎坂越母  
乃石居あり又石居ありて云  
ありて八瀬乃里より石居ありて八瀬  
ありて六十町の坂あり山は相輪権の  
石居あり江別ありありて石居ありて

西塔ト云ヤ

高雄山

葛野郡中治村の上方  
ありて清涼の上流に林

と云く山中に楓樹多し秋陽錦  
乃石居ありて楓樹ありて  
一畝の名山ありて山は八幡大井垂の  
地ありて和氣清麻呂伽藍を建立  
し後弘法大師密教を隆よ弘し  
性昔大伽藍とて子院僧坊あり  
法を編集ありて法を編集あり  
山ありて石居ありて小星箱あり  
ありて石居ありて石居ありて

中興文是上人の玉系集より雄山  
法源川を底より見て谷がたつた松の  
下うち

雄徳山 綴赤郡八幡所上流  
一ノ名鳩ノ岩又ハ香煙

峯又ハ八幡山ハ名師と能くまを  
其南流山より西に河をさして

放生川を築せりける出務斎院の地  
形ハ月夜和可集よりハハハハ山酒子花

乃姪吹ハ川波白く流のあきかの  
と云ふ

梅尾山 雄山と一山脈あり明皇  
上人系を著せ程子を定山と傳へく

始てハ山と桂と系む佳名あり宋人  
詩より幸得梅山信初嘗日茶と云

是あり春風抄よりありあやうね  
るよりそ御梅尾との此れあり

は以後集と字活よりつとあり

鞍馬山

鞍馬村の上り山の中樹木  
盤石を鞍馬寺奇なり

以ハ天也下向ハ僧正の谷は是を御福  
ゆへに僧正の谷と云ふ後撰集

墨深のくまの山より人へんらんくも  
如くとも来たりん

如名室山 兜室郡麻生谷村上り  
あり山布より寺あり

今悉くすこきり又正南山正云は岩  
王城の東の山ありといふ毎年七月

十六日は大文字の形は火とありすこ  
淨寺村よりかきと火の禁あり七

二ヶ所のあり

岩倉山 二ヶ所の一ハ兜室村又

一ハ東兜室寺性院の辺

其一切経石より十由程あり東の山より

古記よりありまた集平祐季  
岩倉の田中の村に伝へり梅のた

花がりまのせよ 又云流の口首  
岩倉を流中 経渡のよめ一切経  
と云ふ此山は埋む依り名あり 聖の志  
念に乙訓郡坂本村 上方より古記  
見たり 南岩倉の内國は有る  
暗部山 聖定郡赤井村に在り  
有一名史赤井山と云ふ  
古今集二紀君之梅の記白く表  
色はくぬ山やまふと云れと云く  
る有る也

大悲山 聖定郡八井村山寺谷  
村上方より山深く谷が  
ゆるゆる山よりわたり 聖定と云  
霊地之獅子石を繋石と云ふ名二  
あり 飛のゆるりなると云ふ

かみ茂山 聖定郡上賀茂の東  
一名今土山又神山と云  
後多御院御集三賀茂山の林は芝の

其風よこは川の氷と云う

淨蔭山 聖定郡三好村に在り  
一名日影山又淨生山又  
二好山と云ふ 聖定郡中系町に在り  
聖のうまに淨蔭乃山の徳象を今うハ  
このよこの寺より 聖古歌歌多  
有る

仇生山 聖定郡小川瀬谷の  
上方より 神中抄に在り  
山上より平地に在り

江文山 聖定郡井出村上方に  
山あり 穴二あり 日壺  
雨壺風壺たり 飛つ所の山と云 村長  
面と行ひ 聖験多し

新頂山 聖定郡栗田村に在り  
蓮院上方より 聖験多し  
聖定郡栗田村に在り  
聖定郡栗田村に在り

耕田の址と云ふ

靈山

靈山 八坂町 東に  
寺と云はると云又山の井

あり續日か紀明月記云ふらんり

歌中山

靈山 越前守の山 吳地  
川法軍の山 吳地

中山

靈山 越前守の山 吳地  
木の地とて中山と云ま

本集 志もこぞ我も田すの中山  
歌きよはりしりるるれ 東又如

靈山 越前守の山 吳地  
山 越前守の山 吳地

鳥羽山

靈山 越前守の山 吳地  
河の拾遺集 鳥羽山

谷の烟の煙をくくくくくくく  
とくくく

小倉山

靈山 越前守の山 吳地  
上るる山 中 相多

後撰集 業平 大井川 久る舟の舞

火よ小々の山も名のとありり

嵐山

鳥羽 越前守の山 大井川  
上るる山 中 相多

中 相多 一皆 嵐山 上 皇の極 中  
新子 載集 後 宇多 院 河 山 中

飛山

鳥羽 越前守の山 大井川  
上るる山 中 相多

とく小倉山の飛山 元一山 之 飛山の志  
形 以て 續古今集 中 督 大井川

松尾山

鳥羽 越前守の山 大井川  
上るる山 中 相多

す 風 系 奇 絶 の 山 之 續 後 拾 遺 集  
唯 傳 院 文 集 一 松 尾 山 之 山 中

桂よんくくくくくくくくくくく

大内山

鳥羽 越前守の山 大井川  
上るる山 中 相多

若 野 越 前 守 の 山 中  
一 名 法 師 山 洞 記 集

お分地出中云九等より白々と  
つる大内山乃さくありなり

五智山

古くは龍王の村のよき  
山と云ふは伝の傍あり

足上山

古くは龍王の村のよき  
大永七年より柳中氏

陣所古地よりなり  
山と云ふは伝の傍あり

蓋山

古くは龍王の村のよき  
一上夜山と云ふなり

蓋のこゝへ伝と名と云ふは  
夜山との夕煙をたのむ

稲荷山

或は飯飯より伝は  
稻七八町東南と云ふ

三寺あり伝と云ふは  
稲荷神社の社あり  
平定文の稲荷社の説と人より  
きくを云ふと云ふなり

竹葉山

稲荷神社東南と云ふは  
竹の下に云ふは

内と伝て大仏堂の  
あり傳に今も  
山のり云ふは

深草山

深草村と云ふは  
深草山と云ふは

けむり山の  
拾遺集に云ふは  
おく山と云ふは

伏見山

伏見の山と云ふは  
和泉と云ふは

云々  
八種山と云ふは  
南浦と云ふは  
伏見の山と云ふは

物らんの又孫年中又并く不あり  
新拾遺集にゆゑ山門田の書  
夜とこ知て極子をき鴨の抱りき

秋の山

紀伊歌中津村山枝乃  
柳の南尾身三教山是  
あり元白河院舞宗の假やま  
今當とそ田畑とわたりそお敷  
五首の祈合三去り休まと添よ  
まをそ一しをの輝北山の輝の月

栗田山

宇治郡日屋村の山  
是を定勢よつそ山こ  
山海と松坂上云鴨そ明祈かえり  
らん程とち坊の三あふ我松坂  
乃ねありまの又古帖栗田山越  
ともこ急とそ丸夜はるけり  
々架

華山

花山村の山三又本集  
氏アにぬ松坂とそそ

かりやましくそいやく山のほた  
花乃山と

鏡山

伊陵村の山水乃三の  
泉きわ山三乃本集

法羽山

田代村の山水乃今へ柳  
山と公林三はあり

青羽山

喜羽村の山水乃別は  
界三山三乃頂三は

てあふそ目の下ま三山三乃牛  
尾向り中三乃羽の勝三乃又登  
坂三乃水三乃つ三乃古三乃集三乃京  
え三乃乃三乃山三乃ま三乃つ三乃登三乃坂三乃  
せ三乃この三乃あ三乃ま三乃年三乃と三乃終三乃り三乃

笠取山

醍醐村の山水乃乃一  
山三乃又日三乃



と云ふ山ありて樹木無き故す  
六帖に面いさるる山は山神を  
皇山と云ふなりと云ふ

炭山  
炭山村と云ふ邦を  
集源吸すといふ

と云ふころ地を冬をいひしり  
おき居の夜もいと祓ぬ  
いひしり

三ツ星山  
いづれ村の上方にあり  
一名の星山前統名

ありていひしり  
ありていひしり  
ありていひしり

戸の山

乙訓郡山崎村上方  
有山と云ふ神社を依り

と云ふと云ふあり

柳叢山  
乙訓郡浄谷村にあり  
と柳岩と云ふと揚

谷と云

木上山  
乙訓郡奥海戸村にあり  
樹木無き山と云ふ

小塩山  
乙訓郡小塩村より大系に  
ありていひしり

岩山  
岩山志保木の別名を風京寺  
傍の地之光俊が寺と云ふ  
乃寺と云ふより霞の川原の寺後  
にあり

大江山  
於伊予に依り乙訓郡  
吾村上方にあり

地蔵寺と云ふ大福寺と云ふ  
丹波の界之勢古今集に慈田大江山  
傾く月の影をてを相回乃面  
おつれかりと云

神降山  
上相村上方にあり  
浄法寺にあり

出灰山  
出灰村上方にあり  
石原を朝貢と云

名とすりし一休和尚もけ山に住す  
ケイコマ 一々栗山久世郡宇  
栗隈山 治郡の丘より東南に

つら山あり家と國歌と名く  
一羽眼下にありと云ふ云ふ山  
あり六帖に栗山麻の山と稱する

熊子よりも我と云ふと云ふ山  
高尾山 久世郡宇治尾村上方  
あり家なくと云ふ

山あり  
久世郡白川村上方に  
あり

天王山 綴在郡三吉村にあり  
さく山と楓多し大和

河内界と云ふ  
綴在郡新井村にあり  
山あり水晶石と生け

井南使山 綴在郡新井村にあり  
山あり水晶石と生け

河内ト界と云ふ

箕山 綴在郡内里村にあり  
後多持院の屯地あり

局けり住あり住は光清の  
の女あり

井出山 綴在郡井出村にあり  
山下に温泉あり

と伝和舟万葉集にあり  
綴在郡市布村上方

市布山 綴在郡市布村上方  
山ありと云ふ

頂ありをまきと云ふ  
市布山、市布山を指  
の流を源流と云ふ

推尾山 相樂郡市布村上方に  
頂ありと云ふ

就岩山 相樂郡市布村上方に  
頂ありと云ふ

眼下にありと云ふ  
て風景は  
奇矯の地

岡田山

安永のつよむらじ七  
年九月亦工寮にこ

中よりと下して岡田ノ下にて綱を  
九日たる日七月三日筑後を後  
位下流永吉人高貞を以て岡田の  
細をみる伎と云く

笠金山

笠金山村ノ東ノ山也  
びん谷深く樹木繁

茂と云弘永年中、後醍醐帝は山  
城を築きて信守を築城を陶山小  
尾山初河として築城するより  
左平化と云くより五社百を後  
成り六月毎におもむる所の川

笠金山の山も平くまじつ

一重山

安永出津土岐以南  
連つてより大和界を

おとす之万葉集に記す  
くさねの山を月夜と云く

しらねの山

松山

和末の松山村より  
山大尊令の山材を

物と云く左平記より  
集に我々天と云くまんを  
記す保より足る和末より

相楽山

相楽村の山也  
万葉集に記す

光りつて山はのさう  
きくを性るはれハ

麻背山

麻背山村の山也  
多しんをより万葉集

おとらうらうらと  
乃山時の性るはれハ

布高山

布高村の上り  
万葉集に記す

おとらうらうらと  
大さの山

高懸山

上柏村、東へ二百里、  
集、柏山、形、ひらり

高懸川、流、り、を、を、こ、こ、西、は、か、ま、  
り、

名川 聖岩郡と部

聖岩川

紅の池、流、る、水、源、は、先  
布、祿、より、流、て、東、向

聖岩村、より、流、て、流、流、て、下、鴨、の  
南、へ、く、る、聖、川、と、一、は、合、合、て、次  
骨、流、て、又、桑、橋、の、下、へ、出、て、九、条  
乃、東、南、を、竹、田、村、の、山、を、下、り、  
神、の、首、小、枝、橋、の、下、を、流、て、横、大  
路、乃、西、へ、桂、川、と、合、合、を、聖、川、  
一、名、鴨、羽、川、又、流、る、水、川、又、東、川  
又、石、川、後、撰、集、こ、か、を、川、の、お、ろ、こ  
こ、を、て、懸、の、月、を、り、く、る、人、と、  
及、ん、く、く、ま、り、

老布祿川

水、源、は、ま、ま、の、山、に、  
乃、流、り、二、瀬、村、に、

中村市、市、村、を、経、て、西、向、流、る、  
い、り、て、聖、川、に、入、り、

鞍馬川

水、源、は、百、井、村、に、出、り、  
く、ま、村、を、経、て、二、瀬

村、に、入、り、

中津川

水、源、は、中、津、村、に、出、り、  
中、津、川、村、を、経、て、東、向

村、の、南、に、流、る、

八瀬川

水、源、は、八、瀬、村、の、  
大、原、の、山、に、出、り、

い、り、て、八、瀬、川、と、又、垣、川、と、  
流、て、中、津、村、を、経、て、長、谷、川、と、合  
合、流、の、南、を、流、て、先、を、ね、り、  
川、と、合、合、後、流、二、云、云、  
一、や、拾、芥、抄、に、云、云、  
流、は、聖、川、と、合、合、

青羽川

其源ハ心志山ノ中ニ母  
坂ニ有リ

村の西とありて流れて谷門に入る

白川

其源ハ江別流ガ部  
より出テ白川村ニ至リ

白川と云麻岩の洞を経て豊田

に流れて白川橋大木橋を経て

賀も川と入ル古橋ニ有リ

白川と云流カガリありて

其源ニ至リ

高瀬川

其源ニ系ノ東ノ山  
カガリノ水ガ部

其源ノ東ノ山より九系ノ紀伊郡

入ルあり

菅野郡

大堰川

其源丹羽在野田郡  
山ノ中より流れて

山ノ中より流れて二ノ流とあり

其源尾の流と云下流を流る

流と云いり南舎了ニ至リ

下流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

流ハ山田橋津柱等を経て下

清瀬川

其源ハ心志山ノ中ニ母  
坂ニ有リ

其源ハ心志山ノ中ニ母  
坂ニ有リ

其源ハ心志山ノ中ニ母  
坂ニ有リ

糸山の山麓に三ヶ所ありて之を世に流  
瀬川を流すは流土

水尾川 水原の水尾村山中  
より入るて南へ大

井川は入るあり

鳴滝川 一名津守川水原の  
北へ細石村より平岡

を経て川筋村の南より  
紙屋川と合ふ

紙屋川 水原菅原郡水原山  
の西より流る川筋

の南より入るて津守川と合ふ  
西堀川 又磐川又其見川と云

有柳 生田村より流る  
大井川と入る

芥川 天保の末より南より  
流る大井川と合ふ

背戸川と云

宇多川 水原宇多山の中  
より流る紙屋川と

宇治川 水原の別湖を経て  
去地村より流る

と絶停の界とありて  
とあり流る淀の堀乃  
川と云水原川 第一村の古水乃  
もけりよ流る

本津川 水原の停候名津川  
の和別名が流るの

尾と流る田山の細より  
川と合ふて水原と云

鴨瓶ノ系の名は流る鴨瓶  
を流る天白と改ま

又沢田川古水本津村相  
屋村平屋村隣田村に

ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東  
ありとありと流るゝ八幡社の東

淀川

淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ  
淀川は古くは淀川と云ふ

玉川

玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ  
玉川は古くは玉川と云ふ

中川

中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ  
中川は古くは中川と云ふ

有栖川

有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ  
有栖川は古くは有栖川と云ふ

大宮川

大宮川の枝流あり  
大宮の森のふもとに  
てたふく一帯より流れて大宮川  
と云ふく流れて堀川に入ります  
集新古今集に云あり

堀川

堀川の支流は  
新田村より流れて  
の赤を流して大宮に流れて  
二俣川と云ふは流るの赤を流  
るく小川と云ふ南に流れて一帯あり  
堀川と云ふは古流あり  
中園の赤のふもとに流れて  
うらと流れてあかたけのふもとに  
赤く流れてあかたけのふもとに  
上名村より流れて堀川と云ふ  
若狭好古集に云ふと云ふ  
これに云ふは二俣川  
すめり川と云ふ

西洞院川

二俣より流れて九条の  
南に流れて上名村中乃  
橋を流れて堀川に入る

名池

泥澤池

又清菩薩池と云ふ  
名池村に在り十八所  
余の和泉或は住むと云ふ  
くかき久むと云ふ池に  
あり

廣沢池

池浦村に在り又  
町はうらひ池に  
下の中は妙古  
るの池乃今  
日二四



その小堂もたゞのちつとが支配し  
六百番前合より海もた月すひ  
夜中の廣沃の池に空よりむら  
かりりらと

大沃池 大芝の山より東の方  
樹木志らくしりりり

中央の池は菊の池と云々の坤は  
名もあやしき池と云巨地を合を  
うまるといふ池は池師如前と云  
山家集より大芝の山合をうたて  
るゆゑと云く 池は名もめりり  
人もかうしりりりりりりりりり  
一ちうゆは又芝の山より古の集  
純友の池は池師と云いりりりり  
大沃の池は池師と云いりりりり  
百の池は池師と云いりりりりり  
ゆりゆけをまらりとすまらりり  
夜乃と

鏡池 鏡安の池と云いりりりり  
二沃の池は池師と云いりりりり

群治す廣沃の池は池師と云いりりりり  
魁多の池は池師と云いりりりり

葛浦谷池 大芝の山より西の方  
え和の山より西の方

とうあてあをりりりりりりりり  
多

第採池 鳴瀬村の池と云いりりりり  
残まらりりりりりりりりり

池は名もあやしき池と云いりりりり  
第は池師と云いりりりりりりり

鏡池 上野村の池と云いりりりり  
すいりりりりりりりりりり

鍛冶池 池の上は鍛冶師と云いりりりり  
池の上は鍛冶師と云いりりりり

凡く宗道の屋敷ありて宗道指ま  
尺くあり

大池 紀伊郡の元佐ん乃  
以回と云守分久世紀

入小倉村に巨椽といふ池あり  
四里許五社百之三後水つゆ  
はや沢田の子爵より回子にせり  
初とすくふくふつらん

松尾池 宗法郡勢修寺村乃  
あり

勢野池 綴は紀多岐村の南  
より盛衰記に新記と

池と云俗に地蔵池と云今中勢と  
いふまじり

水堂池 同郡あり村に池依  
て村の名とす

龍王池 同郡内里村に龍王  
社と依て名とす

荒神池 相樂郡  
相寺村あり

三石夫池 同郡有布村に早  
の岡村に池に依て

取と行ふ必要論とあり

神泉苑池 之系坊つ小大に  
あり

後池ありて乾臨園あり天長  
年中弘法大師行面の時大竺  
尊徳池の言女尊王を指し  
てい池と名後せり

御池 押中御敷内一五古記  
押中御敷南室所ノ東

ありて敷内池ありて勢羅池と  
云今も御所池上ル徳念の  
うらみつりて池ありて山あり

名瀧

音羽遊 宇治郡音羽山ノ東  
乃をよしのたまやまのりし  
こねこれ夕立の定

音羽遊 北定郡比叡山御塔  
有古今集一巻一巻つ遊

清水遊 東山後あるが草下  
有るま本集一巻一巻の

無音遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

龍王遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

衣遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

志原遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

拍遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

有るま 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

久多遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

名又天許一を雄遊と云又一を  
雌遊と云風京之遊と絶え

衣遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

志原遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

拍遊 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

有るま 北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

北定郡本定御村を  
けあるま解りしゆき

樓門ろうもん湫

日向麻あしひら谷村の上  
如ごと名な嶽たけと云いひ

三重みへ湫

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
のの水みづと云いひ山やま上の上の  
昔むかし時とき月つき鏡かがみをもつ  
十じゅう所しよ許こと云いひ

竜りゆう蟬せみ湫

紀伊きい郡ぐんあり山やま中のちゆう  
有あり捨すてき集あつまひ

稻いぬ荷かり湫

ありてと云いふは稲いぬ荷かり山やま七しち日にち  
たたりしと云いふと云いふ人ひと今いま湫しよ  
ありと云いふは細こき流ながれと云いふ下したの流ながれと  
ありと云いふは細こき流ながれと云いふ大おほ和わ大おほ  
流ながれと云いふ大おほ和わ大おほ流ながれと云いふ

唐から櫃び湫

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
推おし尾おと云いふと云いふ悲かなし尾おと云いふ

不動ふどう湫

日向八幡山やちばん下した流ながれ  
たたりしと云いふお怪あやしき人ひとは流ながれ  
たたりしと云いふお怪あやしき人ひとは流ながれ  
たたりしと云いふお怪あやしき人ひとは流ながれ

竜りゆう王おう湫

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
と云いふ末すえの末すえは門かどの末すえは風かぜと云いふ

菅か馬ま湫

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
と云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ

兒こ湫

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
と云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ

日向赤山あかやま水みづ鏡かがみを  
と云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ流ながれと云いふ

老淵

同知屋村の老淵

童子淵

童子淵

同知屋村の童子淵

系舟橋の地

明神大淵

同知屋村の明神大淵

又余へいふ

あり淵のさす百卒

一と雄鷹と云一と雌鷹と云

風系云彼も及ひし

夕花井

明星井

吉田社のお松の下に

有りと神系は明

星池より古記に記し

大師求圓持の法と傳へ

ときめ白星井は天淵

智後院あり

菜井

後宮下河原の菜井

洞ありお孫けり

清和井

聖定院傍の清和井

和井のありと

櫻井

松ヶ崎村の櫻井

柳井

西洞院

三條下所又

西洞院の柳井

織田常三郎の屋敷

ありおれ水すれ

り井の淵

柳と植

ありの文

あり

醒井

河川 東条の如  
醒井河の織田長

吾輩とありてはあやと  
一石とてとてとてとてと  
きてそそ其味を嘗とて井筒の  
表の務に依女牛井元和二年  
より有り内務有樂再  
興と云々

泉井

かまきり界内と云

梅屋井

松屋河下老所  
東例と云々

泉系清澄の時秀云々茶の  
あつとあつと生井の深サ一丈  
余梅屋の入り井筒れよま  
くしてか、流れゆく水の口き  
おろり矢のあつとあつと  
東のうら河と云々と云々

水井

竹屋河、南東洞  
あつと元少時之云々

等趾あり古記ニ和二年三月  
二百南敷假山の泉も漏れ  
流る垣の外も物も清涼なりと云  
く百練抄におる井神社祇園  
別宮や兼邦和所抄と云  
尼をそけいあすじ園ておる井  
の尼と云ふおのをよと云  
後指き集よと云

水井

烏丸田原坊下所  
東例と云々

六月七日、婦と云ふ十男と云  
又やとすはら氏人いあを汲  
てふお流つうい流めて社を  
あつと水は冷々味と云所の名も  
水の所と云々

小井

三条の南仲家の  
細小のり一白練

抄こらんり

櫻井

一条の山二所又通南  
橋井の過子あり

井名を橋井の之を橋井基  
佐の宅地

縣井

一条の山田尾の  
古伝之り今考

乃々女津流のり入出善  
後おと及のま中

女将井

深草寺御所飲津  
古伝之り地性

昔口位おのり世に  
深草女将と云は井おのり  
せり

雲深井

深草寺雲深寺

志井

依ん津「書」云  
上右は水漏出

味耳く痛ふはと服すれば  
立亦は急白今焼おと一  
系集ふらん

小町井

宇治郡少野村  
俗傳之り

百夜月井

宇治郡日香町  
あり

山田井

飯島村之り  
かり

弘法井

奥畑村之り  
りて味耳

桑井

乙訓郡井内村  
はる

味亦云耳

泉殿井

乙訓郡田村に在り  
早もけあかりく

白井

葛井

山田井

先と丹也

桐井

名泉

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

又田に在り

同郡津島村に在り

水は清く涌出する

此泉は清く

下田村に在り

時久かたしく

甚く清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

此泉は清く

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水

朧清水



多々此源流是なり

大人足取泉 乙訓郡大谷新田村に  
有り長サ六人余云

辨天泉 同郡吉野村に在り  
水印、涌流す

龍泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

神人泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

清泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

甘水 同郡吉野村に在り  
水味、清く

醍醐水 同郡吉野村に在り  
水味、清く

榊泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

月岡泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

鏡若泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

玉泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

升子の玉泉 同郡吉野村に在り  
水味、清く

くひもさき世なり有り 又玉泉

丹とまがづく

名石

牛石

名石 白川溪に取  
牛の骨より似たり因て  
名とすといふ一えけるを切んとし  
鑿とまると急血脈も切ると傷  
おろまき止ぬ今より痕を

仇生石

仇生石 東山智恩院より出づ  
乃の中央より出づる祝多し一高山乃  
仇生の祝より出づる祝より一  
初は仇生一とつる石面より  
こけり見る人ふる後ありと後  
死と生して胡仇をわるとり  
仇遊石 東山より出づる石  
の石より元音を仇  
遊ると云後又東山より有り因て

今の名と守せらるり一人の孫ぶ  
不くと云

護法石

護法石 大原身達院村極楽院  
山お生徳の山角より出  
皇太子阿闍梨持戒勳位の傳因て  
勿忘とて一人の童子ありて後  
給仁と護法童子と号す皇太子の  
滅後化してると形より

獅子石

獅子石 大原身達院村巽口阿  
淨草に祀院の堂のにお  
ありし一石あり人畜院にお  
又珠の秘法と修せり時石獅子  
と化しておろり地よりとてと後  
々々と新学巻十ニ云り

鏡石

鏡石 昔白河郡大木村の志  
新まきと云ふりて水晶  
石のまき一面より出づる石を  
てとて石鏡のこけり伝へんと

蜻蛉

宇治郡之御村字治分  
こむらよむらた乃た子

有る一冊廿八余幅三人三寸末三寸  
の幅の表は云々御銘も乃像  
と彫付より傳へけしヨチスありと  
田村のうしひは案付の裏やうげろの  
るひもとつひいふとせし

額書

雄山樓門弁坂の  
左のかうの坂の中子

けるは弘法大師位山の門にありと  
居るは額と云はけしありと  
かて文字をすまると面よりか  
是は弘法大師の御位云々  
帝の御位をすまると面よりか  
と云は和南のがしとと勅使と  
まはしりたりと云はけしと  
川のありては雄山の御位を  
傳へり勅使川の御位を

一冊と云はけしありと

と云はけしありと  
又人の御位をすまると面よりか  
と云はけしありと

額立

同本門車山一可余  
諸侍たる方地内

佛足

相尾山春日社小石  
をる處に仏足の形を

彫る處と人の他あり

白石

同輪るノ堂ノ後  
白きうして

坐禪

嵐山の上を傳へ  
る處に坐禪の形を

の牀と云はけしありと  
と云はけしありと  
と云はけしありと

ふつたりと色し世まありと  
あつひのころあつたの身と光の光  
くひりとけおせ

牛跡石 西の系字津佐ま  
山の上なる飛牛乃

足酒石 是定郡二津村赤船  
の社一なる所小橋上

乃ら一姫一志の姫とてまきて  
誓てあまの社日あそむ  
そ対あすけるまやすし  
是とすきこりあしと

螢石 大なる和山後より  
傳え和おむらあま  
の社ま多宿の田けあふやらの  
とあをえくし前と海と伝  
号するし あまの川山下のあま

冠石 昔舟形東河内村  
る形冠ま似たり伝

坐禅石 相樂郡湯船村奥  
小松村 孫大智寺 巖

十田又河山下さびるさ十八る横  
かる舟形上平之横八間幅六  
けあつたりかむらなる大観師  
坐禅の石

虎石 あつて三宮院つた乃  
あま有是別伝あま  
足跡の浦まあり一志の浮洲あり  
あまあま是とあまの城まあり  
さるさ後世あま梅

虎石 海軍宝塔さ方丈の  
あまのなまをさるかち

虎は似たりける始々親意上人は  
馬の地中より赤系万里山御押小  
橋は申之と所と虎尻町と云今  
何れ秀吉公依ん城と号人あり  
と記せると城因に移るは  
彼地更改の後と云と地あり  
とありて高山よりつと

名所

乙訓郡大原村橋掛  
石橋

乙訓郡大原村橋掛  
石橋の古木今  
有りお傳ふ所は伸此橋より  
傍らと云と記の事いふ又  
林も石橋の傍に傍ら

紀伊郡深草寺  
深草橋

紀伊郡深草寺  
深草橋の古木今  
有りお傳ふ所は伸此橋より  
傍らと云と記の事いふ又  
林も石橋の傍に傍ら

乙訓郡大原村橋掛  
石橋の古木今  
有りお傳ふ所は伸此橋より  
傍らと云と記の事いふ又  
林も石橋の傍に傍ら

乙訓郡大原村橋掛  
石橋の古木今  
有りお傳ふ所は伸此橋より  
傍らと云と記の事いふ又  
林も石橋の傍に傍ら

光天松 唐松池の向いふふ  
古者此の松のふらふらなるを遍照と  
よ大徳正覚の宗基を云々唐松  
流の元祖と云座に逢ふ月十二の松の  
梢より天とせり候し光天の松と  
よえき松と云ふなり今此  
南より唐松あり

御老刀松 酒家の松のふらふら  
中斗の朽木一本柱なり今も有り  
相傳う九弁別友を經け松を刀と  
をし又一説はわりりの御老刀も  
いを隣に境内にあり御老の松と云  
とと云ふ強りなり云

此松を松 乙州郡の業生をの松  
なり松をたつて松と云ふ  
之かありは松上人滅後十七年

安次二の四のサの世なりと人の  
遺骸と茶毘の付け松を以て  
を川なりと云今の松は後松なり

影向松 少僧經王堂あり  
松は影向と云仲信と傳ふ松梅院  
ありて松と云及まると云又一説  
は松と云及まると云又一説

常宿梅 誠心院の日向の松  
墳墓下の梅と云くけり織田  
ありて見たり

未開紅 赤松松葉松の松も春日  
傳ふなり紅松あり

子母貫松 赤松赤松の松あり赤松  
赤松あり赤松あり赤松あり  
これ所ありと云り  
そと外由赤松

馬繫松

寛永平年傳つたこと  
清水四年六月傳たれ

改廟の芝も日害の雨日分ごと  
けねまつをくト云リ

田尻松

諸の妙々<sup>（？）</sup>は堂のあの  
田尻の松と云ふは廿六

流着田尻よりといふは廿六

七か竹

諸備ア人せんのなれ  
家作し根アキマてま

七か竹の伝くたこと

新橋松

諸備ニ寺の因く之家  
田尻ニ思ひかゝるの事

形一と小くは新橋の松より引くこと

新向榎

姉弟新向榎入る事  
神の肉よりいふこと

内裡のその榎林の浦より引く世に

大伴の松向木と云ふ事永く子年  
二月八日諸中大火の事被り

新向榎

新向榎

富永の松と云ふ事  
文ノ後より是の事

河原院方名長融云の旧址あり榎

林意庵の抄りて世に新向榎と

求道持木

榎の市より引くこと

傳ふ求道持の法を傳へし時増こと

瓶いきりて榎の枝経籠み十日

瓶の底

根とせりといふこと

瓶の底

上原七ノ社神あり古本

瓶の底

あり世に新向の榎

瓶の底

ありいれ名木多しあり

瓶の底

東指をて織敷ニんより

百々橋

古内中川あり榎  
今昔相次三百々

河内 葛仁紀 三白と遠下あり

羅漢橋 今河内中川をとおぼす

五條の橋をいふ事の中細川  
典厩の橋をいふ事の中細川  
典厩の橋をいふ事の中細川

舟橋 上之普通と云又一元  
寺橋と云いづ橋

一元と云いづ橋

一系堀川の橋

八坂の橋

津島所大寺の橋

父之居所の橋

新加橋

打つれ家

の知

ナリ

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋

三條大橋



又余が若川とて若川とて  
八月十日の日編りたり

落橋  
大橋橋と云薩戒化

渡月橋  
昔おが山峯天孫

橋と云は橋と云は川橋

ふ所の能あり恵る橋と月々の

神々橋  
和奇集よぬとんけ

安城橋  
昔おが川橋村の東

世人の身よあれりりあれり

清瀬橋  
清瀬村と云又橋後

唐橋  
唐橋村の南と云

つく橋今の吉野村より

宇治橋  
宇治川と云

淀大橋  
昔おが山峯天孫

暖橋あり  
昔おが山峯天孫

小橋  
昔おが山峯天孫

川の水合し橋あり

一人の寸し橋の南に城郭遺蹟の時  
秀吉の掛する上古の橋の是れ是の  
南にあり

孫橋

渡所の中より大なりしと  
小橋の中より御所

豊後橋

本名桂橋豊後橋町  
此橋の百十間秀吉の

此時よりなる橋の乾し別所より好む  
新しきありしと云々又肥後橋の  
架設に後より法正宅ありは依りて  
毛利橋阿波橋本居同

小枝橋

上名村南八町小枝村  
五成美より卯辰に後

長サ四千二百より十町流り又桑橋  
の下流にて架設門の事しけ小橋  
此よりいふはわらと異なり

名家

大虫

本宅敷新原村百五  
又静原山とも云青峯延

此師毘沙門の呪を痛しと大蛇を依  
ては家より毒薬固く名をす毎に去  
月けりよ難るの竹切とて大蛇を依  
目されは法より有るなり

高峯

本宅敷西原村の  
より有りと言高峯より作る

阿波院

本宅敷の地頂と云ぬ  
此と云るは法と云舊

藤の地と又西原田口の南に方とも阿  
波院の事なりと云

小松峯

本宅敷の地頂と云ぬ  
本宅敷に定敷と云

此地やふき嵐しくなること  
よ藤の

大就寺

昔時於月輪るま  
山の頂是ありりハ

元亨二年

南星寺

昔時於此寺の山中  
有り

二の寺

紀伊郡福前山に古昔  
福前の神法苑のありし  
宇治郡宇治大御方所  
寺ありし今ハ詔所と  
なり

今本寺

子前ハ万葉集にあり

小の條

之世於久世村の末に  
堀川氏百三十一條を  
殿守白をの詔所と云  
はり

九の寺

綴在於八幡山を  
一ハ香炉寺

元神寺

相傳於此寺山乃純  
頂とあり

三の寺

此寺郡岩屋山に  
一ハ天洞寺ニハ今光  
寺ニハ倉屋寺ト云云

名谷

霞谷

紀伊郡津和野町に  
有古今集に文屋康秀

此寺の帝此津玉忌の日より  
多保一殿の谷よりありて  
是れ一今日よハハ人

大泉谷

紀伊郡及の森より  
大保、あり

四羅刹谷

同知事後寺のあり  
有り

我孫房谷

白鹿備のあり

僧正谷

舞るの奥あり  
不動明王示現の地

して牛馬丸を法親王傳授せし  
あり

證合名 寺名部 藤原村 東  
有じう 藤原

後寛けしとて平の地を減らし  
後合しとてあり

藤原名 同部 藤原村 名  
此法親王の地

大石名 同部 大石村 地  
又法親王の地と云ふ所の  
と大石と云えは智身院の地を  
いふなり

小松名 同部 大石村 名  
此村と云ふ寺建立ありて  
名松の地とあり

汁名 同部 法親王の地  
此汁名と云えは法親王  
減らしと云ふ又いふと  
字集を記しとあり

泉名 同部 泉名村 名  
此泉名と云ふは泉名  
山槐記に云ふなり今  
此泉名と云ふは泉名

蛇名 同部 蛇名山 名  
此蛇名と云ふは蛇名  
同部 上田村の地

標名 同部 上田村の地  
此標名と云ふは標名

柳名 同部 柳名村の地  
此柳名と云ふは柳名  
是之揚名と云ふ

十坪名 同部 十坪村の地  
此十坪名と云ふは十坪名

五十四卷目  
五十四

壺が谷

宇治郡とらぶらぶら  
山あり

尾名

山名  
山名  
山名

東山新尾名

有主名

相手郡田村新田村  
山名

坂

路坂

久世郡七尾久世二村  
のりまの丸の所より

白毛の山は坂の松新まやより  
てのりん坂もゆけり

瓶坂

寺定郡松尾村を  
所散末集より

瓦坂

同郡折原村の東に  
五倍より

以後坂より

八坂

同郡八坂、里をく  
里、坂より

崎坂

乙訓郡向日町、南に  
五上竹目記より

寺尾坂

寺定郡ひさの山を  
坂のり

禪所坂

松尾坂 大坂

いふ坂

坂より、水尾橋の  
界あり

車坂

寺定郡山名屋山より  
乃、寺尾坂より

長刀坂

寺定郡唐沢池の向  
あがり、寺尾坂より

三草坂

同郡法水寺より、寺尾  
大田二草法水寺、建

主後け乃路て能りあうく云々

### 園

#### 祇楽園

寺名新吉田村東に  
延暦十二年十一月康

樂園と遊桶を同じに曰く天竺  
の幸なる事千を福をき吉田  
の云々からうおうとておろか  
の声  
あやうつ 文云云日

#### 八幡園

同新吉田村、小  
新勅撰集、夜伴光

#### 津輿園

神中村、常盤津の  
死を或い小僧、小  
寺、小僧、小僧の時、枕把左左  
齊、三三、山、云、つ、の、世、二、年

#### 雙園

葛原新仁和、ち、あり  
天長九年九月、双、云、云

#### 夜笠園

同新吉田村、小  
堀川院百を、所、附

#### 極正

同新吉田村、小  
り

#### 日の園

宇治日の居村、小  
古今集、云、云、の、す、の

#### 石田園

同新吉田村、小  
匡房、云、云、の

#### 石の園

乙訓郡の地、と、云、て  
云々、堀川、云、云、を

いかにあつた

鞆園

同知友と村澤屋秘授  
いせのつとこれ番う今人

牛屋園

久世那言村屋村界同  
牛屋那言とあぬ

不桐力をも牛屋の言さういふれと  
又とていふまぬをいふもさうな

區毘園

綴る於飯石村の言  
又馬咋山又湯の言

筒城園

同知あつた村の言  
村の言その地名は白河  
教七百そそえ後いふやせん筒城  
の言れ者の言れいふそてれらり又  
もゆらん

鞍園

相子那下柏村の言  
この言は似て園て

船園

東師の言大津の傍  
く船を言甘茶言漬人の言  
舟をの言ゆいふ言あつた  
いふ言人いあつた

里

八坂里

昔言八坂の言  
源言天延言東遊の  
言これ代の八坂の言今言  
きみ言世言か言え言

芥生里

同知那言村の言  
地名芥生田と云今  
里言これ言う言柿屋言  
山言那言大東言芥生の言  
あ言て言方言人言言

炭竈里

同知大東言新言  
古今集言土言

金平もさし一とある本もや  
細くさぬ者もたれん

桂里 葛野村と桂村  
結後撰集辰後紀

定さぬ桂の里此川よき後有り有  
てや月すすけん

山田里 葛野村山田村又本  
集、徳国法師

ういこの神多と時きりうか  
あれはの梅乃立枝

葉室里 葛野村吉村  
室治百之、光俊

世志志ゆりう尺方れ竹を  
くい後の里乃竹れ面

葛野里 同前村と吉村  
村をさすま本集

仲実ぬい人の由きもんてい  
よりうはれ里の二羽の鳥

今里 二訓今里村新  
名集、葛野新

目多れを後の今里、蚊火立  
を神田の面よりうたあしく

音羽里 宇治郡音羽村  
新後撰集、杉泰

梅あくぬりうまもく海  
をけのさやや存きありん

木幡里 同前本幡村了  
山科のこら此里

伏見里 紀伊郡伏見  
後拾遺集、松後紀

おんふれば梅るううい  
乃さのさをもあれ

井里 綴新前村  
つる山新るる自

お川のほよあうう山  
田新集



ゆりせ井子の山々人 新編古  
今集よりくきり

箕ノ里 同級内里村万石  
きりゆりせ山々人

姥と都てんえあり 土ハ少じとも

森

極ノ森 大文色つゆきをの社  
みん今いたるノ森

と云新古非大細きわ森つてあや  
ゆきはあやのあやの森きよ之に  
かきうつれはあや

赤院森 下野森社東阿ノ死  
南にきりい未中集を

浄祖森 下野森社名い云  
大社百をき後成

ゆりせとあやふんははるあや  
少祖の社よりあやありり

野ノ杜 愛宕石部修子野村  
有り拾玉集

比良木杜 同級一をき村、あや  
まじあははるあや

今中野森の社名い云  
別野渡院つらあや  
あやの内中社を

紅ノ森 下野森川合社、地を  
あや

夜ノ森 昔野森社名あやの  
あやをき後撰集を

羽束師杜 乙訓郡志水村を  
後撰集にわきりて

ゆりせあけきのあやありりあや

つうの敷とみしん

久我村 同部下久我村を  
新まふ集をふり

最の村 紀伊郡海部郡最  
所を新まふ

春とくけそり 最の森  
所を新まふ

芝布神社 同部下芝布村を  
同部下芝布村を

城南神社 同部下城南村を  
同部下城南村を

石田村 同部下石田村を  
同部下石田村を

山科の石田村 同部下山科村を  
同部下山科村を

足立之森 同部下足立村を  
同部下足立村を

後撰集をふり  
同部下後撰集をふり

作森 同部下作森村を  
同部下作森村を

永郷の作の村 同部下永郷村を  
同部下永郷村を

人妻村 同部下人妻村を  
同部下人妻村を

野

紫野 同部下紫野村を  
同部下紫野村を

大野 同部下大野村を  
同部下大野村を

見くく 同部下見くく村を  
同部下見くく村を

遊桶 同部下遊桶村を  
同部下遊桶村を

蓮花 同部下蓮花村を  
同部下蓮花村を

船 同部下船村を  
同部下船村を

有

點野

千中嶋ノ東ノ東ノ  
又月少野流東ノ  
たあつらひささこ一橋ノ考と社  
又メ野ノ其れタケれ又あう結  
さすい少野あうメ野ノ其れ  
尺とや若う社也

小野

延暦年中天白皇  
遊獵一多又定法の事ナリ  
右土白皇の幸七そとんあまの  
百化ニんさう

柏野

少野ノ水も又あつて  
柏野所也  
西ノ東ノ東ノ水ノ  
東ノ東ノ東ノ二年

戦場の事  
以上を七野ト云

櫛野

壹宮郡市東村ノ水  
之野  
同郡之東村ノ社百  
そと後成さうりや

栗栖野

同郡西ノ東村ノ南  
今得てこくす一也ト云延暦十  
四年十月遊獵の事あり  
又本集ニ終任 其さうり水也  
の何より一をさすいこやうり  
乃言れむしきえん

小野

好名ノ新也

日野

同郡日野村ノ水  
延暦十四年八月遊

桶の中古記に足どり山家集  
依るるにぬ園屋に燈籠とて  
日持手とて記し約とありん

栗栖野 同記花山村新撰古  
村のりとも新撰古

あやあやうその少翁、少翁さうり  
ぬれしうふれたうあありる

蛭蛉野 同記三六村、傍母  
蛭蛉ふわり固て名

を万葉集に河古尼、原とあり  
山科野 同記花山村新撰古

智えや八年前の月と云る山科  
遊桶とあり

小野 同記中野村庄人傳  
門とあり 志と云少翁

流と云けとあり  
すうしうとあり

陶形 葛野新撰法涼  
ちう東南と云居民

作系と云氏をかきけと作と  
以て業事とて固て又作系、雲

云天長九年、帝は雨と控桶のり  
古記とあり 新撰探集

古記とあり 新撰探集  
すうのあよきえはれと云新

は中野とありあめしすあきとあり  
かやう 同記山田村とあり

夜生野 夜生の社あり  
同記 今と云が下と

羨瀬野 同記 今と云が下と  
がと云と云と云と云と

之と云と云と云と云と云と  
鬼と追と云と云と云と云と

之代と云と云と云と云と云と  
三代と云と云と云と云と云と

葛野 同記花山村新撰古  
とのりとも新撰古

と云く延暦十二年花桶乃中

古紀まゝくふり

芥川郡 紀伊郡芥川村 延暦弘仁年中より

松輪 一のありの日中後紀に二

しり仁利二の初幸ありし

二代実徳まゝくきり結古宮

集三と細とあも宿とこあえれ

芥川や竹園のま高しちより

柏原郡 同郡大倉谷水あり

大原郡 里人ゆてかひが原と

乙訓郡大倉村弘仁

十の仁利をのちと皇

乃幸のり古紀まゝく

佐江郡 同郡古倉村中向

里とを纏古たう集

中務少将山松風さし一たあや

佐江村ぬまやさえ海さるん

綴古郡古倉村

弘仁十三年松輪の

り日中後紀に二く

棚倉郡 同郡田名村こ又

多のちとあみ持て初よりみ

あのまのぬまかくの野ふ

くうま 久世郡桑隈山あり

のり古紀まゝく

同郡富野村旧名

あり古の紀に二く

宇治郡清原村の

細かゝる天智と五

以後まゝと固てたをこ今清

原野とを是く

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

原

御祖系 いおやのついで 志之宮下なる所の地是之所出集也

静系 しづか 同於静系村の所集之山かののあきぬと

檜系 ひのき 尾の河川をわせり静系の里

鶉系 うずら 同於平尾村の山と云う寺に云鶉の

大原 おほはら 乙訓郡小塩村古なる集之業平相良

十姉妹系 じゅうしめい 同於大原村の五

箇城系 かじやう 綴在郡の村か

田系 いり 同於田系つと

瓶系 びん 同於瓶系つと

宴松系 えんしょう 同於宴松系つと

尾 おし 同於尾系つと

尾 おし 同於尾系つと

高雄

葛城郡中津村の上力之山

梅尾

同郡之雄ノ山

栲尾

同郡栲尾山

水尾

同郡水尾山

松尾

同郡松尾山

牛尾

同郡牛尾山

長尾

同郡長尾山

宗車よりなる形あり  
宇治郡下ノ院  
有之れ分世所と  
百之、修理方丈殿  
寺之、牛尾山より入る人

集之定家乃多向一々喜や  
らん多事報を尾北之の記  
こめしで

将尾

同郡将尾山

崎

松ヶ崎

同郡松ヶ崎

其の目も疎しうりり松ヶ崎  
これや松ヶ崎の海ありん  
榎小崎  
今も松ヶ崎ありんたらの

小しまる橋の山さき乃子母  
山崎 乙訓郡山崎云  
為甲子その山崎や

向ひのせこれ一むらの渡の川原  
みしれれあよりわふ

園崎 中下五上志若

光のきし西門上橋門上の月と云  
門の西方事と云ん民居と出  
刻刻と云をて守、あし中と  
元意と云と云津藤本、東分  
有、おる在あし下ハ茶師の  
まふ十の方と云方境東の十  
四所南水十二所ありと云

嶋

核嶋 久世郡核嶋村  
宇治平等院、史

古ハ宇治の川嶋あり今ハ境と  
集まき新田とあり今集ま  
そ原基光宇治川の川原にぬ  
夕方又核の嶋人毎とあり

夷嶋 本集、武吉の八斗川

乃夷嶋原の川にけりもあふ

梅嶋 宇治平等院、東也

楊枝嶋 紀伊郡淡中嶋、南  
五少社有ふ

驛

三條驛 鳥丸之系上九所  
場の町と云

榎原驛 昔は新榎原村と  
あり



山崎驛

乙訓郡山崎村  
延喜式子目録より  
紀伊郡伏見南  
淡路より

伏見驛

長池驛

久世郡長池村

玉水驛

綴喜郡井出村

岡田驛

桐樂郡山村より

大河系驛

同郡大河系村より

笠置驛

同郡小笠置村より

本津驛

同郡本津庄より

渡

山田渡

若中郡上山田村東  
より

桂ノ渡

同郡下桂村ノ東より

瓶ノ渡

乙訓郡山崎ノ東淀川  
有リ流ハ別渡川ノ

南一河ノ別名之ハ後リ山崎ノ  
八幡及ヒ河内等ニツカハ瓶ノ  
渡ト云フ

久我渡

同郡桂川より

新世渡

本同所より

封ノ渡

久世郡封戸村  
生津村を由渡川

飯園渡

綴喜郡飯園村  
より

檜根渡

同於手田村之西

川と東に流り聖水の山と云ふ又

橋本渡

同於橋本村之西

榎井渡

同於あり付之西

草畑渡

同於あり付之西

加茂渡

同於瓶取之加茂

坤へ南に渡る飯之出は行一里

あり同川上三民の里に流る

有るありて天蓋の山と云ふ

村民あり橋本ト云地境た云之

法起寺形渡

同於法起寺村

本津渡

同於本津村之西

所に橋ありはあり源へ今も橋あり

二里半巽に流るありあり村

其の中より河川の別名に布川あり

川幅狭ありて二里或は三月半

を引張りありありありあり

藪渡

同於藪田村之西

渡を形

三六橋

宇治橋 山城宇治川流 後天  
渡大橋 山城本津川流 後天  
勢田橋 江別湖 後天  
見前中後記

五関

宇治橋 宇治郡  
大原乃 大原郡  
大枝乃 乙訓郡  
山崎橋 乙訓郡  
大津 江別

京都七口

八條口 今此口  
七條口 今此口  
出守口 今此口  
七條口 今此口

七瀬

川合 今此口  
耳敏川 今此口

一系 今此口  
東滝 今此口  
石 今此口

五三昧

阿弥陀 今此口  
西院 今此口

八景 早景

洛陽八景

祇園夜雨 於云春  
祇園雨色晴斜 古廟燈微  
春夜飽聞千樹滴 明朝應著  
清水秋月 江那鏡  
悲閣高臨碧樹巔 依微鴨水  
幽人靜立黃昏後 欲見東山月  
知恩晚鐘 平信好  
春深華頂梵王宮 中有京城第一鐘

百八聲高落花暮東風吹送滿千峰

浣河歸帆 大江資衡

浣河千里望堪迷水盡迷天雲有  
多少風帆懸落日飄飄歸去古城西

鴨堤晴嵐 僧敬雄

綠鴨河堤繞郭長岬頭垂柳拂宮牆  
晴來東嶺翠山風影掩映澄潭素練光

五橋夕照 林義卿

第五橋橫西又東繁華流水日尚窮  
相逢相值不相識絡繹行人夕照中

比叡暮雪 芥煥

天台萬仞秀三峰長鎮皇京作嶽宗  
雪霽寒空斜照暮雲端散手出玉芙蓉

鳥羽落雁 藤原玄芝

秋色蕭條鳥羽田一行鴻雁下長天  
声声叶漸高風暮戢翼沙頭若欲也

洛西八景

愛宕山 大堰川 仁和寺

釈迦堂 渡月橋 時雨亭

松尾祠 梅津里

安養寺 八景

天王祠 將軍塚 北斗堂

西行庵 芳水井 菊溪流

華頂山 長樂寺

北野八景

聖廟 經藏 緑松 紅梅

佛院 馬埒 華表 浮圖

修學院八景

村海晴嵐 修學院塔 左神護

松邊夕照 茅檐秋月 牟田

隣宅初雪 叡峰蒼雪

城小市第山八景

小月嶺 杉斧松 岩牆水

小肉峯 流六溪 洗密科

枕流洞 音智潭

洛西崕峨八景

峨野素亭 飛峰綠樹 度次秋月  
小倉紅楓 碧文松風 山石積石  
洪川水多 清涼晚鐘

稻荷山八景

三峯春眺 浮橋秋月 冬日曉鐘  
多世晚霞 雷嶽蒼翠 瀑布餘香  
前溪紅楓 石山古松

东山水滸五八景

壹嶽堆名 鴨川老流 名懸孤月  
麓村淡烟 龜山落日 惠日幽鐘  
音羽回雲 羅刹紗函

十景

洛陽十景

法水仙閣 智忍禪聲 鞞音長樹  
稻廟紅紫 东山秋月 天台晴石  
獅谷群鷲 宕岩片石 山階夕照

多世古松

东山十景

天台積石 如多秋月 常電之塔  
瑞杉晚鐘 忘念波樵 龍砂孤電  
死頂積翠 祇室晚鐘 法水白橋  
慈林松濤

法水十景

右崖懸泉 春嶽閑花 音持翠翠  
灵鷲疎鐘 洛陽方戶 鴨川一節  
东郊烟雨 西門左眺 宕岩夕照  
龜阜蒼苔

洛西十景

出多方松 台嶽彩霞 林園澗壩  
鴨森及雨 柳各秋月 石川急流  
松橋翠嵐 岡崎涼烟 祥林幽鐘  
白川推飲

愛宕石十景

壹頂層樓 洛陽去後 龜山及雲

了雄丹楓 戲峰晴雪 挂川松流  
法隆寺月 廣法寺夜 水尾朝煙  
月輪松清

笠裏寺所花園十景 修學院村

菩提樹 下ノ寺 寺庭ニアリ

清月觀 日上 藏六庵 日上

變曲欄 田植 寺後ノ木

洗詩卷 上ノ寺 寺庭

藤亭 日上 窮遠形 日上

止止齋 日上 石ノハシリ 建物上

浴龍池 土居ノ東ノ池ニ源今ハナシ

万松塢 中邊之中ニ四方西ノ松

醍醐十景

竺峰紅葉 炭山 壑梅 中ノ深遠

丈高傑觀 西嶽 秋月 玄谷 夜取

南嶺 松名 栂峰 檜推 石間 采巖

寂谷 觀花

十境

南律寺十境

海雲洞 独秀峰 羊角峰

奉新池 曇花堂 鑽春亭

蘿月庵 綾戸廟 慈好亭

蒼龍林

天龍寺十境

普明閣 絳唱谿 靈庇廟

曹溪池 拈瓦炭 度月橋

三級巖 万松洞 珍門亭

龜頂塔

相國寺十境

般若林 妙善嚴城 香魚橋

洪青樓 光星室 珍別水

功徳池 天界橋 護國廟

祝聖臺

東福寺十境

妙多松 選佛場 湖音堂  
柳檀林 思多池 成龍文  
通天橋 千松林 甘露井  
洗玉洞

万壽寺十境

十地超欄 大雄宝殿 三山林窟  
千松客徑 枯木回春 新夜更雨  
东軒 南院 琴台

建仁寺十境

多視欄 空齋樓 大悟堂  
群玉林 入定塔 樂林窟  
芝畫灯 清水山 弟文橋  
鴨川水

大德寺十境

達磨峰 瑞雲軒 看雲軒  
金剛刺 古岩松 起勢軒  
官池 梅橋 中石

明月橋  
妙心寺十境

了歲山 拈華室 夜香橋  
百花洞 字海川 田藉田  
南華塔 祇文社 鷄足岩  
高安灘

十二系

城小水室十二系

自寬峽 攀月巔 雲窩溪  
落樓空 眼中之峯 轉湖山  
曼珠院 服涼坂 務海橋  
浴月池 益永古池 凌陰山

禅林十二系

野山松 悲田梅 黃竹瀑  
通文橋 外勢橋 礙心橋  
烟漏窟 凝睡橋 白蓮池  
巡撫蹊 濯錦泉 策雲扉

八幡十二景

法山灵社 浪濤瑞雲 石水江津

龍洞森月 天石移宮 渡橋斜照

孤川征帆 伏波扇 雜波滄浪

山崎曉鐘 浪濤暮烟 朝山晴嵐

宇治十二景

春岸餘輝 清湍螢火 三宮紅楓

長橋曉月 朝日靄暉 瀧壑翠峯

橋姬水社 釣魚夜月 扇笠孤松

桂河曝布 浮船古祠 興隆晚鐘

五岳

如名宝山 山俗麻衣名上 龜石山 山嶽朝日峰

比叡山 山初江利ノ境王城ノ丑寅

高子穗峯 日向西 金剛宝山 又和風

京羽二重大全卷之四終



